

平塚産果実がプリンに

進和学園としまむらがコラボ

市内外でスーパーを展開する「株式会社しまむら」(島村雅之社長)と、知的障害者らの就労支援を行っている社会福祉法人「進和学園」(出縄守英理事長)らがコラボレーションしたデザート「湘南ブルーベリープリン」が人気を博している。

この商品は、同園が所

有する農園で収穫されたブルーベリーを使用。昨年は682kgを近隣の福祉施設利用者延べ600人が収穫にあたり、ジャムに加工していたが追いつかず、「毎年大量に冷凍保存する中で、有効活用できないか」としまむらさんに相談したのが商品化のきっかけ」と同施設の出縄輝美さん。



たっぷり150gのブルーベリープリン



昨年の収穫のようす

(株)しまむら商品部の小林智幸さんは「進和学園とコラボするなら、素材の味、平塚産の味を生かしたものにしたい」と、生の実を食べ比べてみて、ブルーベリーならではの皮の苦みを生かし、甘さ控えめに仕上げました」と話す。デザート製造は(株)小塚屋(愛知県)が担当。同社の大橋孝明さんは「果汁の品質もよく、繊維感がしっかりしている

るのが魅力。小ロットだからこそ、個性的なものを作れた」と自信作に笑顔を見せた。

商品開発からしまむらとコラボすることで、販路拡大だけでなく、出縄さんは「プロの視点から施設の製品を評価してもらい、利用者のやる気アップにもつながった。しまむらさんとのコラボは社会との大切な接点。ぜひ手に取ってほしい」と話していた。

ブルーベリープリンのほか、「湘南みかんトマトゼリー」、「湘南みかんゼリー」も販売中。4

月にはブルーベリーを使ったゼリーも並び予定。数量限定で150g・248円(税別)。